

第4回学校教育審議会における意見の整理

第4回学校教育審議会における意見・感想等を以下のとおり整理しました。なお、整理にあたって、文章の分割や簡略化、同種の意見の統合等を行っています。

＜1 学校施設の目指すべき姿に関する意見＞

【対応欄: 凡例】

A: 学校施設の目指すべき姿(案)に賛同いただいた意見・感想等

B: 意見を踏まえて、「学校施設の目指すべき姿(案)」を修正

分類	No.	意見の内容	対応
「1 安全性の確保」について	1	「安全性の確保」は、優先事項のひとつであり、内容についても賛成	A
	2	「目指すべき姿(案)」の内容は必要最小限でもあり雄弁すぎる部分もあるが、「子供達が安心して落ち着いて学べる場所」というところに尽きると考える。	A
「2 学習・生活環境の向上」について	3	「学習・生活環境の向上」については、「向上」というところがポイントになる部分だと思う。	A
	4	後段の生活環境に関する文章中に、「特に特別な支援を必要とする児童・生徒」の記載があるが、特別な支援を必要とする児童・生徒への対応としては、生活環境だけでなく学習環境の向上も不可欠。また、生活環境向上は、全ての児童・生徒にとって必要なことであり、特別な支援が必要な児童・生徒への対応も当然に含まれるものだと思う。このあたりをふまえて、記載を検討してみてもよいのでは。	B
	5	「主体的・対話的で深い学び」に対応するために、資料2-7にあるような施設整備を行っていくことは大切	B
	6	児童・生徒にとっての理想の学校施設だけでなく、教師にとってのベストな環境づくりをハード・ソフト両面から考えていくことが必要。教師の業務が多すぎて疲弊してしまうと、教育の質が低下してしまう。	B
	7	学習及び生活環境は日進月歩で状況が変わっていくものであり、フレキシブルに対応できることが理想	B
	8	今後数十年で、人口動態や学びのスタイル、求められる能力などが変わっていく可能性がある中で、このような予測できない変化を吸収できるような考え方も「目指すべき姿」に反映したほうがよい。	B
「3 地域とともにある学校施設づくり」について	9	地域を巻き込んだ教育が重要であり、地域住民との交流を通して、児童生徒の社会性向上や「主体的・対話的で深い学び」にもつながると考える。また、こどもの育ちを地域で見守ることが大切	B
	10	「地域に開かれた学校」、「生涯学習の拠点となる学校」ということにとどまらず、コミュニティの核となるような学校づくりということを構想していくと面白い。このようなことをふまえて答申できれば、総合教育会議でも検討してもらえないのではないか。	B
	11	「様々な人から愛される学校施設」というキーワードがあってもいい。	B
	12	自治会等だけでなく、地域には様々なコミュニティがあり、これらと一緒に学校づくりができるとうい。	B
全体について	13	「目指すべき姿」は基本方針である以上、踏み込んだ記載をするのではなく、スリム化した打ち出し方が重要	B
	14	「目指すべき姿(案)」の内容はもっともであり、これらが満たされれば、よりよい環境となる。	A
	15	現時点では3本の柱立てでまとめられているが、議論の状況に応じて、柱立ての仕方についても検討してほしい。	B

<2 議論の進め方や施設整備・教育全般に関する意見>

分類	No.	意見の内容
議論の進め方に関する意見	16	学校の教育環境を考えるには、ハード面だけでなく、人材や施策面等の充実も重要であり、教育を全般的にとらえた議論も必要。ハードに特化するのではなく、より幅広い視点により議論したほうがよい。千葉市の教育施策の方向性が分かる資料を提示してほしい。
	17	新たに学校を作るということであれば、理想を語ることもできるが、老朽化の進んだ学校施設が非常に多いという前提にたつことが必要であり、プライオリティの付け方に関する議論を行うべき。
	18	今後は、答申に向けてより現実的な議論を行う必要がある。理想論の先にある、現実的な市の考え方がある程度示されたほうが、より建設的な議論ができる。広範な理想論だけでなく、現状において何ができるのかという前提にたつて、議論すべき。
	19	現実路線の話は、お金と密接に絡むものであり、全体としてどの程度お金をかけていくのかということがある程度わからないと、どこまでやれるのか、もしくはやるためには何をしていくのかという議論につながっていかない。このあたりのイメージを提示してほしい。
	20	例えば学校におけるソーラーシステムなどのように、教育委員会におけるエコに関する取組み状況や事例等に関して、データや資料を提示してほしい。
施設整備全般に関する意見	21	学校が地域の防災拠点となることは重要であり、そのためには優先順位をつけて老朽化対策を講じることが先決
	22	「目指すべき姿」をどのように実現していくのかということが大切。金銭的な問題もあるため、市としての優先順位を検討し、プライオリティの高いところから対応すべき。
	23	学校施設について、全校を平等（画一的）に扱うのか、反対に個性を出す（差をつける）のかということ、方針として決めておく必要がある。
	24	老朽化対策だけでなく、新たな教育やシステムに対応するためのリノベーションにまで踏み込むことは、コスト的な問題もあり、難しい部分もある。「学習・生活環境の向上」と「地域とともにある学校施設づくり」は、方針としてはよいが、この内容を本当に進めていくのかどうか、覚悟が必要
	25	エアコンの問題について、単純に空調を整備する方法に加えて、エコ改修という方法もある。空調整備とエコ改修が両立できれば理想だが、現実的に困難ということを見ると、様々な手法について、コストや効率性等を慎重に比較検証していく必要がある。
	26	「目指すべき姿」に到達させるための戦略づくりが大切であり、そのためには、関係者の理解を深めるプロセスが重要
	27	学校にどの程度の危険やリスクがあるのかということが、もっと可視化されてもよい。これらを地域の課題として、危機感・臨場感を持って共有することも重要
	28	公平性という面では難しいかもしれないが、例えば企業が近隣校へエアコンを寄贈するということがあってもよい。こういった方法で新たな財源を確保し、「安全性の確保」などのより優先すべき事項に、公的資金を投入していくということも考えられる。
	29	学校施設には様々な側面があり、一概に何が安全なのかを測ることは難しい。
	30	安全性といっても、地域の特性によって何が安全かは違う部分もある。

分類	No.	意見の内容
施設整備全般に関する意見	31	現状は、基本的に事後保全で対応しているようだが、施設の長寿命化を行うならば、「この学校は何年持たせるのか、そのためには何をやっていくのか」という考え方をもつべき。
	32	学校を建て替える計画があるのであれば、理想を反映しようということになるのだろうが、なかなか難しいだろう。
	33	予算の範囲内で効率的に施設整備を進めることができるよう、P F Iをはじめ様々な手法の活用を検討すべき。
	34	重要なことは、通常の教育活動を行っていくうえでの安全・安心の担保であり、内外壁や床、トイレの問題等への対応がそれにあたるものである。
	35	エアコンは快適性の問題であり、優先順位は下がる。
教育全般に関する意見	36	千葉市の特色を出す必要があるのではないかと。限られた予算の中では、軽重をつけたり焦点化するということも必要
	37	学校教育を考える際に、ハード面からの視点に限らず、子ども達を指導する教職員などの人を育てる視点も必要
	38	地域の役に立ちたいと言う組織からの寄付やマンパワーをもっと利用出来るようにはならないか。